

もう一度会えたなら

もう一度会えたなら 序

芳流 (kaoru)

<https://www.pixiv.net/novel/show.php?id=17444633>

ダイの大冒険, アバン, 師弟邂逅祭, 誇りの一番弟子

ヒュンアバ・アバヒュン師弟オンリーイベント「誇りの一番弟子」
お題企画合わせ。
テーマは「涙」と「顔向けができない」

新アニメ73話でのアバン復活とヒュンケルとの再会を祝して。

表紙の写真は、photo A C <https://www.photo-ac.com/>様でお借りしました。

Table of Contents

- [もう一度会えたなら 序](#)

もう一度会えたなら 序

その日は、抜けるような青空だった。

雲一つない澄み渡る空の下、その空と同じ色の明るい髪をした男が、穏やかな笑みを浮かべていた。

誰もがあり得ないと思った再会に、夢なのか、あるいは自分が死んだのではないかと自問していた。

彼は、長年の好敵手の最期を看取ると、順に、弟子たちに視線を止めていった。

弟子たちを見つめる師の眼差しは、慈しみ深く、温かった。

ひとりずつ、丁寧に視線を止めて、穏やかに微笑む。

言葉はなくとも、これまでの彼らの努力と、歩んできた道のりを深くねぎらっていることは、その眼差しを受け止めた弟子たちには、すぐにわかった。

その姿が、思い出の中にある彼の姿と重なり、そこでようやく、彼らは実感した。

師の帰還を。

どれほど会いたいと願おうとも、心の中でしかまみえることのできなかつたその人が、今目の前にいるのだと、彼らはようやく気付けたのだ。

彼らは一斉に、師に駆け寄った。

そして、嬉しさと安堵と、愛おしさが、涙となって溢れ出ていた。